

# 愛は南からー

目の不自由な方にも町の情報を 広報あいなんを点訳  
ボランティア団体てんとうむしの会



後列左から 中尾登美代さん、細井由紀子さん、田中亜弥子さん、野田友香子さん  
前列左から 松下祥子さん、脇田加苗さん、二宮公子さん、澤近直美さん、清水一子さん  
(この他に中尾昌子さんが所属しています)



用紙を紐でとじて製本します。



専用プリンタで印刷します。



担当するページの分担を決めます。



点字となった広報あいなんが完成。必要としている方に届けます。



紙面を見ながらパソコンに入力。専用の点訳ソフトを使います。

会員10人 専用ソフトで点訳

町が毎月発行している広報紙「広報あいなん」を目の不自由な方にも読んでもらおうと、ボランティア団体・てんとうむしの会(会員10人 脇田加苗代表)が紙面を点訳し、必要とする方に届けています。

月に1回集まって意見交換

会員は毎月下旬にプラザじょうへんに集い、出来たばかりの紙面をもとに各々が担当するページを決めます。実際の点訳作業は自宅で行いますが、プラザじょうへんでは点訳に関する意見交換や学習、そして会話を楽しめます。

初心者でも楽しい

2年ほど前に点訳を始めたという清水一子さんは、「もともと興味があった。まだ皆さんのように上手にはできないが、教えてもらいながら楽しんで続けている」と話しました。

◆点訳をしてみたい方、募集中!

てんとうむしの会では、会員を募集しています。

点訳をしてみたい方、興味がある方、お気軽にご連絡ください。初心者歓迎、見学だけでもかまいません。

◆連絡先 プラザじょうへん (TEL 73-2288 電話受付: 月火木金 11時~16時)